

特別企画

第1回トライアングルトーク「社会の多様性について考える」

少子高齢化、財政赤字、福島原発事故、日中関係等々多くの課題を抱えて、岐路に立つ日本。今問われているのは、政治家や官僚ではなく、主権者としての私たち自身のビジョンです。

関西学院大学東京丸の内キャンパスでは、日本が直面するいろいろな課題について皆さんと一緒に考えていきます。

第1回のテーマは「社会の多様性」。

人口減少に伴う労働供給の制約を受けて、政府は、女性の社会進出や外国人の受け入れを促し、これを日本経済の成長に結びつけようとしています。

この流れの中で語られることが少なくない「社会の多様性」ですが、そもそもこのテーマは、私たち一人ひとりの生き方とこれを受け入れる社会のあり方の問題として捉えなくてはなりません。

また、グローバル化が進む世界の中で日本はどう生きていくのか、という観点からも「社会の多様性」について考えることが大切です。

第1回トライアングル・トークは、この問題について、乙武洋匡さん、アグネス・チャンさんと共に考え、語り合いたいと思います。

4
/
17 (金)

時 間…13:30~15:15

受講料…無料 要申込み

定 員…300名

会 場…ステーションコンファレンス東京 5階
(東京都千代田区丸の内1-7-12 サビアタワー内)

お申し込みは
こちらのQRコードで!



講 師

歌手・エッセイスト・
教育学博士 [Ph.D]

アグネス・チャン

Agnes Chan

香港生まれ。1972年「ひなげしの花」で日本デビュー。一躍、アグネス・ブームを起す。上智大学国際学部を経て、トロント大学(社会児童心理学)を卒業。ボランティア活動、文化活動にも積極的に参加。1994年米国スタンフォード大学教育学博士号(Ph.D)取得。1998年日本ユニセフ協会大使に就任。2000年には本格的に歌手活動を再開、「この身がちぎれるほどに」は20万枚のヒットを記録。現在は、芸能活動ばかりでなく、エッセイスト、大学教授、日本ユニセフ協会大使、日本対がん協会「ほほえみ大使」など、知性派タレント、文化人として世界を舞台に幅広く活躍している。

アグネス・チャンホームページ
<http://www.agneschan.gr.jp/>



作家・東京都教育委員

乙武 洋匡

Ototake Hirotsada

1976年、東京都生まれ。大学在学中に出版した『五体不満足』がベストセラーに。卒業後はスポーツライターとして活躍。その後、教育に強い関心を抱き、新宿区教育委員会非常勤職員「子どもの生き方パートナー」、杉並区立杉並第四小学校教諭を経て、2013年2月には東京都教育委員に就任。教員時代の経験をもとに書いた初の小説『だいたい3組』は映画化され、自身も出演。続編小説『ありがとう3組』も刊行された。おもな著書に『だから、僕は学校へ行く!』、『オトことば。』、『オトタケ先生の3つの授業』など。2014年4月には、地域密着を目指すゴミ拾いNPO「グリーンバード新宿」を立ち上げ、代表に就任する。二児の父。



丸の内講座 監修
関西学院大学教授
NEWS ZERO メーンキャスター

村尾 信尚

Murao Nobutaka



お問い合わせ
資料請求

関西学院大学 東京丸の内キャンパス Tel.03-5222-5678

〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-7-12 サビアタワー10階

(受付時間:月~金 10:00~18:00)